水の犠牲から子供を守ろう

海水浴シーズン來る

いよ〳〵七月に入り、留萌地方は、これから海水浴シーズンになります。

幸い留萌はこゝ三、四年の間事故もなく過ごしましたが、全道の場合を見ますと、相変らず水の犠牲者が出ておりますので、次のことがらに充分注意して、今年も、ぜひ事故をなくしたいものです。

◇昨年の犠牲者數

昨年の六、七、八月の三カ月間に水の犠牲になつたお子さんは全道では七十二人で、年令別にわけますと

一才～六才　三十四人
七才～十二才　三十四人
十二才～十六才　十四人

となつております。

◇水におぼれた原因

幼児は、あやまつて水に落ちたと云うことが多く少年の場合は、水泳中と云うのが大半をしめ、ともに保護者のちよつとした不注意から、かわいゝお子さんをなくしています。

◇お母さま方へ

イ、幼児の水遊びには、保護者が必ず付添つてよく見守りましよう。

ロ、お子さんを一人で水遊びにやらないようにしましよう。

ハ、危険な川や池などがあつたら市か警察に届けましよう。

◇水泳をする少年の注意

イ、友人とさそいあわせて泳ぎましよう。

ロ、水泳禁止区域では、およがないことにしましよう。

ハ、水に入る前に必ず準備運動をしましよう。

ニ、はげしい運動のあと、空腹のときなどは泳がないようにしましよう。

ホ、顔やくちびるが青白くなるまで泳がないようにしましよう。

ヘ、引卒者のあるときは、その人の指示によく従いましよう。

◇事故のおきたときは

イ、大声をあげて、近所にいる人にすくいを求めましよう。

ロ、たすけるときは必ずうしろから助けるようにしましよう。

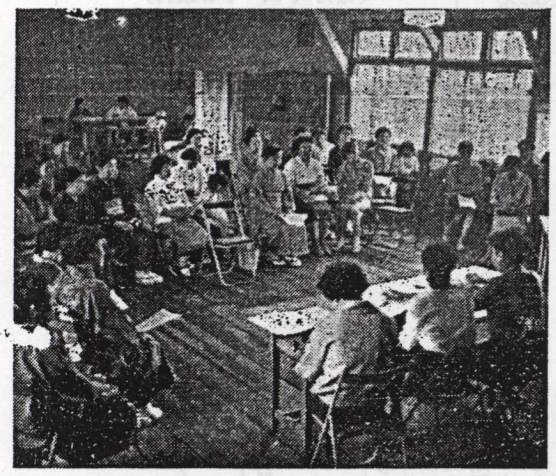
ハ、水からあげたときは、水をはかせ、体をあたため仮死狀態のときは人工呼吸を行うようにします

ニ、応急手当とともに醫師や警察へすぐ知らせましよう。

エプロン姿で参加する第七回婦人大会

成功收む

「集團の中に於て婦人の自守性を高めましよう」を大会のスローガンに第七回留萌市婦人大会は六月二十七日市公民館に、婦人団体十一、約百五十名を集め盛会に開かれ、それぞれの問題について活發な討議を行い、有意義にその幕を閉じました。



— 写眞は熱心にメモする人々 —

当日は子供をかゝえた母親が、割烹着などの思い思いの姿で参加、熱心にメモをしていました。

先づ講堂で、開会式、日程説明があり、たゞちに実驗發表が、留萌友の会や、幌糠婦人会代表の方々から行われました。

その後分科会にわかれ、生活部会では「近代社会にふさわしい合理的な生活を進めよう」

社会部会では「社会環境を淨化しよう」

教養部会では「婦人の地位と教養を高めよう」をそれぞれ熱心に討議した。

晝食後「北海道婦人の歌」の合唱、ラジオ体操などのレクリエーションを行い旭川學大志賀匡教授の「これからの家庭、これからの奥さん」の講演がユーモアタップリに行われ、さらに午前中の分科会協議の報告があつて、これを全体討議にかけて決定、「集団の中における婦人の自主性の高揚」に一つの道を見出し、五時に有意義に終りました

豪華な商工パレードも

期間は五日間

—賑わい豫想される港祭り—

写眞は内港の仕掛け花火

ことしの留萌港祭りは、例年の三日間に対し、二日延長して五日間行うことになり八月一日（土曜）から催されることになりました

行事はまだ日程がきまつておりませんが、毎年好評をよんでいる花火大会、水泳大会、港湾勞務者船員慰安大会のほか、雄壯な全道自転車大会、それにことしは特に仮装行列や自衛隊も参加する商工大パレード大会も加えて特色をもつた港まつりになるよう期待されています。

これにようする予算は、大体四十三万円程度になる予定です。

農業基本調査に御協力を

農家の皆様へ

ことしもまた七月一日現在でもつて、昭和三十四年度の農業基本調査を行うことになりました。

この調査は農家人口、飼養家畜、経営土地面積などの農業の基本的事項を調査し、今後の農業諸施策の基礎資料にするものですので農家の皆さまには調査員が伺いましたら、是非御協力下さつて、極力正確にお答え下さるよう望んでやみません。

◇調査の対象農家

イ、経営面積が一反歩以上のもの。

ロ、経営面積が一反歩以下でも年間生産物の総販売価格が二万円以上になるもの。

◇調査の事項

イ、農家世帯員の狀態、常雇、季節雇、臨時雇、

ロ、農家の專業、兼業別

ハ、飼養家畜の頭羽數

ニ、経營土地面積

ホ、ビートの作付面積

ヘ、使用農用機械

ト、牛飼養各施設

チ、堆肥場

リ、生活改善の狀況

夏は一家そろつて健康を

伝染病予防全戸防疫の実施について

夏が近ずきました。海に山に、夏休みと共に家族連れで出掛けられることも多くなります。

しかし、夏はまた傳染病發生の時期です。折角の楽しい夏を赤痢疫痢、腸チブス等の病気で暗い夏にしないよう注意いたしましよう

市では、この恐ろしい傳染病予防対策として、ねずみ族、蚊、蠅等を驅除するため、左記の計画で全戸防疫を実施いたしますので、御協力下さるようお願い致します。

記

○実施期間
七月六日より一ヶ月間

○実施範圍
特別清掃区域内及びその周邊

○実施箇所
下水溝、流し尻、便所周邊、ごみ箱、厨芥箱、その他汚染箇所

○散布薬剤
五%DDT油剤
殺蛆剤

○実施予定日
七月六日～八日
大町、港町
七月九日～十一日
錦町、宮園町
七月十二日～十四日
本町、幸町
七月十五日
見晴町
二十日～二十一日
壽町、沖見町、旭町
二十二日～二十四日
明元町、開運町
二十五日～二十七日
栄町、末広町
二十八日～二十九日
南町、千鳥町
三十日
五十嵐町、花園町
八月一日～三日
元町、船場町
春日町（応急仮設住宅）

「注意」

①散布箇所の雑草などは是非刈り取つておいて下さい。

②便所、ごみ箱類のまわりは四、五寸土を堀りかえしておくと薬剤（うじころし）が一層効果的に作用します。

（厚生課）

夏の防疫いろいろ

○○○○○おそろしい○○○傳染病

今年もまたあのおそろしい傳染病の季節になりました。皆さん、次のことがらを守つて傳染病をふせぎましよう。

1 調理の前、用便の後、外出から歸つたとき、食事の前などには必ず手を洗うこと。

2 生水をのまないこと。

3 食べものは新鮮で特に生ものは、煮たり、燒いたりまたよく洗つて食べること。

4 食器や戸ダナの中は、いつもきれいにしハエのつかないようにすること。

5 便そうやゴミ箱の中にハエが入らぬようにすること

6 毎日使うフキン、タワシ、マナ板などは日光消毒をすること。

7 ハダ着類の洗濯は手マメにし、夜具類もよく日光にあてること。

8 体についたアセやホコリはよく洗い流すこと。

9 よくすい眠をとり寢びえしないようにすること

☆☆☆☆☆☆フキンと食中毒

食中毒をふせぐには、食べものは新鮮で特に生ものは煮たり、燒いたりあるいは洗つて食べることはもちろん大切なことですが、毎日しかも日に三度使つているフキンについては、一般に関心がうすいようです。

それでこの間札幌で開かれた清掃大会で「フキンと食中毒」について研究発表がありましたが、そのあらましは、次のとおりです。

皆さん、フキンはいつも白く乾いたものを使つて食中毒をふせぎましよう。

1 しめつたネズミ色のフキンは、ぞうきんと同じだ。検査したところによると大便や下水の中にいるとと同じ大變おそろしいバイキンが數千万、數億もついていた。

2 なに色によらずぬい合せたフキンはよくない。ぬい目にいろ〳〵なものがはさまるばかりでなく洗いにくく乾そうがおそい。

3 フキンは、白のサラシもめんの一枚ものが一番よい。洗いやすく乾そうが早くヨゴレがわかる。

4 フキンは、使つた後で石ケンをつけてお湯で洗つて乾そうさせる。こうするとフキンについたバイキンがほとんどいなくなる。

×××××赤痢にご注意を

強くなつたことしの菌

学童の集団赤痢発生の記事が近ごろ目だつてきました。それに赤痢菌自体に耐性ができて、いままでの治療薬では死滅しないと云うことも問題になつてきました。例えばペニシリン、ストレプトマイシン、クロランフェニコール、テトラサイクリン系の薬剤がこれまでこの病氣につかわれ、かんたんに一、二日で今までは治つていましたが、近年は、これらの抗生物質の影響で、菌がずんずん強くなつてきております。

赤痢は人によつてちがいますが二、三日の潜伏期間があり、まず三九度～四〇度の熱を出し腹痛を起し、やがて排便が一日數十回にも及ぶようになります。熱を出し始めてから二四時間から四八時間以内に手当をしないと生命が危いし、死亡率も二、三%と云う高さです。

予防方法はナマ水を絶対のまないこと。共同井戸や川水の利用者は殺菌をしてからのむこと。生物は水流をよくしてから食べることなどがかんじんです。